

北海道公立大学法人

札幌医科大学

専攻科

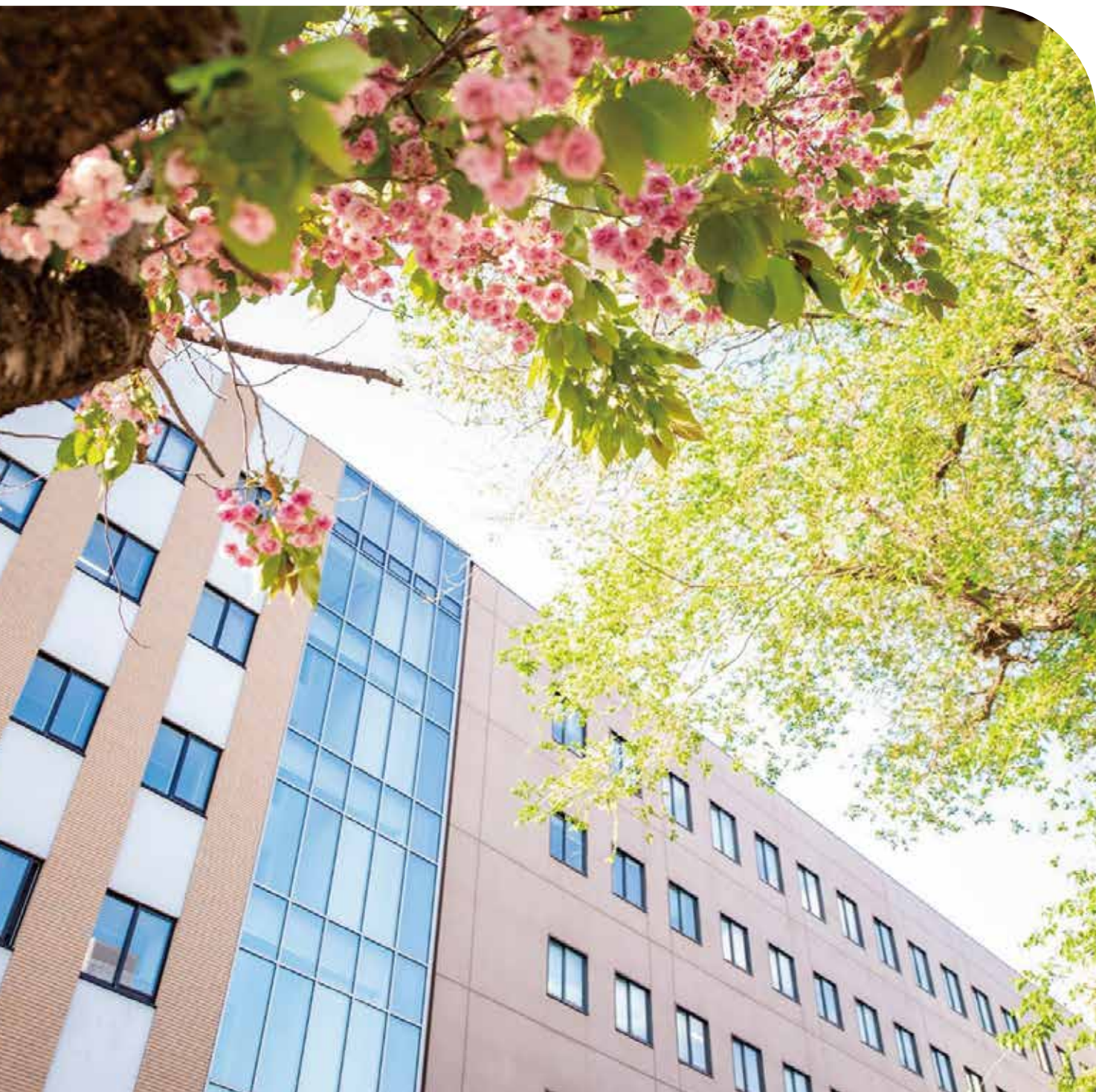
公衆衛生看護学専攻

Public Health Nursing

助産学専攻

Midwifery

Sapporo Medical University Graduate Course



札幌医科大学

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

専攻科長あいさつ

専攻科長 片寄 正樹 Katayose Masaki

Be a Professional “プロフェッショナル”たれ!

我が国では人口構造の変化に伴う2025年問題、さらに深刻な事態が懸念される2040年問題が目前に迫っています。少子高齢化と人口減少に伴い、労働人口の減少、社会保障制度の危機、医療・介護費用の財源圧迫などが日本社会に多大な影響をおよぼすことが予測されています。健康寿命の延伸やシニア世代の活躍を支えるための健康支援、出産・子育て世代の妊娠・出産・育児への支援は、社会の維持のために不可欠といわれています。これらの課題に直接的に向き合う保健師と助産師への期待は大きく、その果たす使命も大きなものになってきました。これに呼応するように保健師・助産師に求められる素養も高度専門化してきていることと合わせ、その隣接専門領域との連携素養も不可欠になってきています。

これらの状況を踏まえ、札幌医科大学では看護師有資格者を対象とした保健師および助産師の1年間の養成プログラムである専攻科を早くから設置し、本専攻科は公衆衛生看護学専攻と助産学専攻の2専攻を擁する大学専攻科としては我が国初の設置となっています。

本専攻科は、保健医療学部そして医学部を擁する札幌医科大学が運用するプログラムとして、高度専門的な知識・技能の習得を促す教育を確保しつつ、先端的な教育研究リソースを活用した専門職として主体的に役割遂行できる高度な実践力を身につけた保健師・助産師、そして公衆衛生看護や助産領域を牽引しうるリーダーとしての素養を育む教育を展開しています。

将来、北海道における地域保健・周産期医療の第一線で活躍し、多様な課題を解決しながら今後の発展・向上を支える人財となることを目指す皆様のご入学を心からお待ちしております。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

札幌医科大学専攻科は、北海道の保健・医療・福祉に貢献する、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな保健師・助産師を育成することを目的としています。そのため次に掲げるポリシーにより学生を求めます。

求める学生像

1. 北海道の保健・医療福祉に深い興味・関心を有し、保健師もしくは助産師として地域に貢献したいと考えている人
2. 公衆衛生看護学又は助産学に関わる知識・技術の基礎・基本を高いレベルで修得している人
3. 看護上の諸課題の解決に必要な実践力を有している人
4. 多様な価値を尊重し、高い倫理観をもって行動する姿勢を有している人
5. 看護職としての役割と責任を認識し、専門職としてのキャリアデザインを描いている人

建学の精神に基づく国内初の2専攻からなる専攻科

札幌医科大学 建学の精神

一、進取の精神と自由闊達な気風

一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

平成24(2012)年、本学に助産学専攻科が誕生しました。専攻科の開設前夜、北海道立衛生学院の閉校が決定し、本学は助産師教育の機能移管を北海道から要請されました。地域医療への貢献の使命を果たすべく、周産期医療と母子保健で活躍する将来のリーダーたる助産師の養成に本学は踏み出しました。さらに、平成30(2018)年度入学生を最後に、本学は保健医療学部看護学科選択コースの保健師養成課程を閉じ、専攻科としての教育へ変更することとしました。令和2(2020)年度に公衆衛生看護学専攻が開設されるのに伴い、札幌医科大学に両専攻を擁する専攻科が誕生しました。

近年、保健師養成課程と助産師養成課程を擁する専攻科は少しずつ増え始めていますが、本学はその先駆的な取り組みをしたと自負しています。これからも本学は進取の精神に則り、北海道のパイオニアとして保健師、助産師、看護師の看護三職種全ての教育に取り組んでいきます。

両専攻での合同授業

保健師・助産師が活動する現場では、複雑な課題を抱える対象者が増加し、単独の職種で問題解決を図ることが困難となっています。職種理解を深め、将来的に保健医療福祉活動における多職種連携を果たせる保健師・助産師になってほしいと考え、合同授業を行っています。



5月
両専攻の
学生混在の
グループで
意見交換

健康教育について意見交換をしました。入学して1か月の授業ですが、学生からは保健師と助産師で考え方や視点が違うという感想が寄せられました。わずか1か月ですが、他職種との相違を知り相互的な職種理解が芽生えていました。



1月
各専攻の
グループで
意見交換

子育てにおいて課題を抱える女性と家族への支援について意見交換をしました。公衆衛生看護専攻と助産学専攻の学生では、対象者のアセスメントの視点や支援方法の考え方に明確な違いが現れていました。講義や演習、実習を経験し、保健師・助産師として自職種への理解が深まっていました。

保健師・助産師としてのキャリア形成支援



専攻科説明会

看護学生、看護師を対象に、将来のキャリアを考えるための情報提供の機会として開催しています。保健師・助産師を目標とする方がモチベーションを高め、情報をキャリア選択に活用してもらいたいと考えます。在校生との交流会、教員への個別相談などのプログラムを用意しています。



公衆衛生看護学専攻の就職セミナー

北海道や道内市町村の行政保健師らが複数参加し、地域の特性や保健師活動の実際を知ることができます。就職先に関するより詳細な説明を受ける機会として、保健師との個別面談等の機会を設けています。就職セミナーをきっかけにし、離島への就職を決めた学生もいます。



助産学専攻の就職セミナー

合同就職説明会の多くは看護師向けの情報が多いのですが、本学の就職セミナーでは助産師に特化した情報が得られます。本学の実習施設の助産師が参加し、施設の特徴や助産師の仕事などを助産師と交流しながら知る機会となり、実習準備にもつながっています。

修了生間の交流、修了生⇔大学間での連携活動

保健師セミナー

公衆衛生看護学専攻では、修了生による保健師活動の実践報告や修了生・在学生・教員の交流会を行っています。交流会では、保健師として働くまでに身につけることや働いてからの教育体制などをテーマに活発な意見交換が行われています。在学生からは「入職前に準備することや新任期の業務内容を知ることができ、働く上での心構えができた」との声が上がっています。

SAPMED Midwife Café (サブメドミッドワイフカフェ) ～拓く!助産師の道～

助産学専攻では、修了生の交流の場となるSAPMED Midwife Caféを開催しています。1年課程の専攻科では先輩後輩のつながりを持ちづらいため、助産師としての経験、結婚・出産などのライフイベントの経験を修了生が集まって共有し、世代間交流を図っています。同じ助産師の活動を聞くことで刺激を受け、キャリア形成の情報を得る機会となっているようです。



両専攻共に国家試験合格率100%の実績

公衆衛生看護学専攻

保健師国家試験
開設以来3年連続

助産学専攻

助産師国家試験
開設以来11年連続

専攻科の学生生活

Student's Life



出生直後の児の観察演習

講義・演習・グループワークを通して、助産師・保健師になるために必要な知識・技術を身につけます。



PC室で課題をしています。24時間使用できるので便利です！



合同授業のグループワーク



前期

入学式

講義・演習

実習

夏季休業

後期

講義・演習



1年間、一緒に頑張る仲間たち！助け合い、励まし合える存在がとても大きいです。



勉強以外の楽しみも！！



就職活動

公衆衛生看護学専攻の就職活動

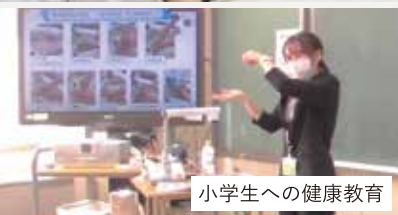
5月～1月頃

助産学専攻の就職活動

4月～9月頃

募集開始時期は自治体や施設によって様々です。専攻科入学前から情報収集をしたり、病院見学に参加している学生もいます。

いつでも教員に相談できる環境も心強いです。様々な実習施設で、専門分野について深く学びます。



小学生への健康教育

保健管理センター

保健管理センターは専攻科生の生活を健康面からサポートする場所です。医師、保健師、看護師、公認心理師で構成され、それぞれの専門性を活かしながら健康に関する業務の実施や相談に対応しています。



保健室



相談室

図書館の自習スペースで国試勉強！24時間いつでも利用できます。



実習

冬季休業

研究
発表会

国家試験

修了式



1年間の集大成を発表します！



晴れて修了！同期は一生の宝です★

大学・附属病院にある施設が利用できます



学生ホール

新しくなった学生ホールで食事や勉強ができます。



丸善

学習に必要な専門書を取り揃えています。



ファミリーマート

大学と附属病院にあります。



スターバックスコーヒー

附属病院1階にあり、学生も利用できます。

先輩たちの受験準備

公衆衛生看護学専攻 令和4年度修了生

久保田 実里さん (北海道大学出身)

Q. 受験勉強を始めた時期を教えてください。

3年生から受験を意識していましたが、本格的に受験勉強を始めたのは4年生になってからです。

Q. どんな教材を使いましたか？

看護師国家試験の問題集やアプリを使って、看護師国家試験の勉強をしました。

Q. どんな風に受験勉強を乗り越えましたか？

面接に向けて、志望動機や保健師を目指す理由を考えました。大学の演習・実習で立てた看護計画の見直しをしました。

Q. 受験生へメッセージをお願いします！

就活と課題の両立やパソコンを使ったデータ処理など、大変なこともたくさんありますが、充実した学びと一緒に頑張る仲間が得られます！ぜひ受験を検討してみてください。

助産学専攻 令和4年度修了生

山田 彩月さん (札幌医科大学出身)

2年生の秋頃から、先輩や先生の話聞き情報収集していましたが、授業や実習で忙しく、本格的に始めたのは4年生でした。

母性看護学や看護師国家試験、看護過程の教科書・参考書に加え、他大学の助産学専攻の試験問題に取り組んだり、本学の過去問も閲覧しました。

友人と協力して勉強することで、効率よく知識の整理ができました。とにかく、「絶対受かる!」という強い気持ちを持ち続けました。

諦めなければ絶対に大丈夫です!皆さんが専攻科の後輩になることを楽しみにしています。応援しています!頑張ってください!

公衆衛生看護学専攻 令和4年度修了生

藤林 みほさん (北海道医療大学出身・社会人経験者)

Q. 社会人を経て受験した動機を教えてください。

病棟で勤務し、妊婦や難病の方など幅広い対象を看護する中で、地域での予防医療や健康危機管理の重要性を感じたからです。

Q. 受験についての職場や家族の反応はどうでしたか？

看護師長に相談し受験の後押しをしてくれました。受験日などは休みを取れるように調整していただきました。

Q. いつから、どんな風に受験勉強をしましたか？

6月の入試説明会に参加し受験を決めました。試験まであまり時間がなかったため、看護師国家試験の必修問題を中心に勉強しました。病棟看護師としての3年間の経験も受験勉強に活かしました。夜勤中の休憩時間も利用して勉強していました。

Q. 大変だったことや、工夫したことはありますか？

志望理由書の書き方・内容について看護職以外の友人などに見てもらいました。社会人から学生になることで収入がなくなるので、日本学生支援機構の奨学金を借りました。

Q. 社会人からの受験を考えている受験生へメッセージをお願いします！

学部卒の同期とは少し年齢の差はありますが、年齢は関係なく友人となることができます。保健師を目指す皆さんを応援しています。

助産学専攻 平成30年度修了生

小川 迪子さん (天使大学出身・社会人経験者)

看護職で合計5年半、他職種で2年半の社会人経験を経て受験しました。大学の中から助産師を目指していたので、チャレンジしてみようと思いました。

職場の上司は、受験日は休みを取れるように調整してくれました。家族は、学生で収入がなくなるためそれに備えて節約するなど、生活費の面で協力してくれました。

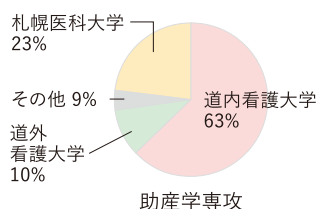
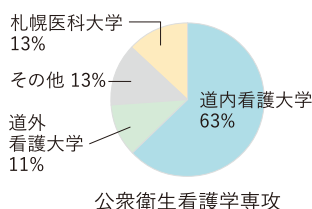
大体1年前くらいからだったと思います。母性看護と小児看護の教科書で知識確認や暗記、国試対策の母性と小児看護領域の問題を中心に繰り返し解いて勉強していました。

交代勤務だったので勉強時間の確保が大変でした。1週間の勉強量を決め、夜勤があるときは前倒しで進めるようにしていました。

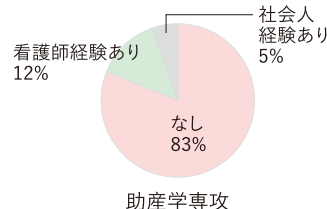
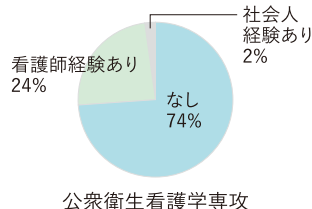
久しぶりの学生生活でしたが、世代は違えど同期なので、みんなで乗り越えようとして協力したり気分転換したりしつつ、楽しく学ぶことができました。仕事は悩む事もありますが、やりがいのあるものだと思います。受験を考えている方はぜひ、挑戦していただければと思います。

入学生の内訳

①出身校別



②看護師・社会人経験の有無



公衆衛生看護学専攻 Public Health Nursing

教育目標

公衆衛生看護学専攻では、地域ケアシステムの構築と地域社会の多様なニーズに応える保健師としての基礎を培うため、以下の教育目標を掲げます。

1. 地域住民の健康と安寧を支える実践能力の基礎となる高いレベルの知識・技術を有する人材を育成する。
2. 広い視野をもって社会の動きを見据え、地域に存在する健康課題を捉える能力を有する人材を育成する。
3. 社会の健康課題の解決に向けた社会資源の開発やシステム化、施策化に参画できる人材を育成する。
4. 地域住民、関係機関、多職種と連携・協働し、パートナーシップに基づいて組織的に活動できる人材を育成する。
5. 人々の生命や人権を尊重するとともに、社会的公正を活動の基盤とし、専門職に求められる倫理に即して行動できる人材を育成する。
6. 公衆衛生看護の質的向上のために継続的に自己研鑽し、自らの能力の維持・開発、公衆衛生看護学を探究する態度を有する人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー(修了証書授与方針)

公衆衛生看護学専攻は、地域保健を担う保健師に求められる専門性と実践力を兼ね備え、所定の単位を修得した学生に保健師国家試験受験資格を付与するとともに、修了証書を授与します。

1. 地域に存在する健康課題を明確化し、事業計画を立案して組織的に解決するための公衆衛生看護学及び関連分野の知識・技術を身につけている。
2. 豊かなソーシャルキャピタルの醸成を目指して、地域に出向き、地域に根差した実践を展開するための基礎的な能力を身につけている。
3. 地域の健康課題を解決するための社会資源の開発やシステム化、施策化に参画する能力を身につけている。
4. 地域住民、関係機関、多職種の人々と信頼関係を築き、連携・協働する能力を身につけている。
5. 保健師としての役割と責任を認識し、高い倫理観をもって実践する能力を身につけている。
6. 地域住民の健康の保持・増進、地域社会の安寧、公衆衛生看護の充実と発展のために、生涯にわたって研鑽する意欲と自己学習力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

公衆衛生看護学専攻は、修了証書授与方針に掲げた能力を有する人材を育成するために、以下のように教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程は、「専門領域」「関連領域」「臨地実習」で編成する。
 - ①専門領域では、公衆衛生看護の目的・対象、保健師の役割や専門職としての責務や倫理を学ぶ。加えて、公衆衛生看護の対象である個人／家族、地区／小地域、地域のアセスメント、地域社会がかかえる健康課題の解決に必要な知識・技術を学ぶ。
 - ②関連領域では、疫学や保健統計、保健福祉行政等の専門分野を支える知識を学ぶとともに、人々の健康に深く関わる環境や社会の多様性に対応するためのコミュニケーションスキル、将来の保健師としてのキャリアデザインについて学ぶ。
 - ③臨地実習では、行政・学校・産業・地域において、学内で学んだ知識と技術と統合し、公衆衛生看護の実践能力の向上をはかる。
2. 公衆衛生看護学及び看護実践に必要な知識と技術の修得レベルを高めるため、事前準備と事後展開を含む質・量の伴う学修過程を展開する。
3. 少人数グループでの能動的学習を積極的にとり入れるとともに、個別状況に応じた学習支援を行うことにより、学生個々が高水準の知識・技術を修得できる教育環境のもとにカリキュラムを展開する。
4. 将来の保健師としてのキャリアプランを具体化するため、行政・学校・産業の場で活躍する現職保健師との交流や地域等におけるインターンシップなど、キャリアイメージを高め、職業アイデンティティの形成を促す機会を設定する。

教授あいさつ

公衆衛生看護学専攻教授 **上田 泉** Ueda Izumi

保健師の専門性と実践力を培うため、この専攻科で学びませんか。実践経験豊富な講師陣や現役保健師からの講義、セミナー、多彩な学習環境を準備しています。公衆衛生看護学専攻カリキュラムの強みは充実した実習と魅力ある科目です。行政の実習はもちろん、産業保健、学校保健、地域包括ケア実習等、実習も充実しています。災害保健指導、キャリアデザインセミナー、国際文化コミュニケーション等、特徴ある科目も学べます。これらは近い将来、保健師として強化が必要な学習であると考えています。また、学生時代から助産師と保健師の役割および協働について学び、ゆくゆくは北海道の地域住民の健康に寄与するため、率先して連携し活躍できる人材を育成したいと考えています。皆様と専攻科でお会いできることをお待ちしております。

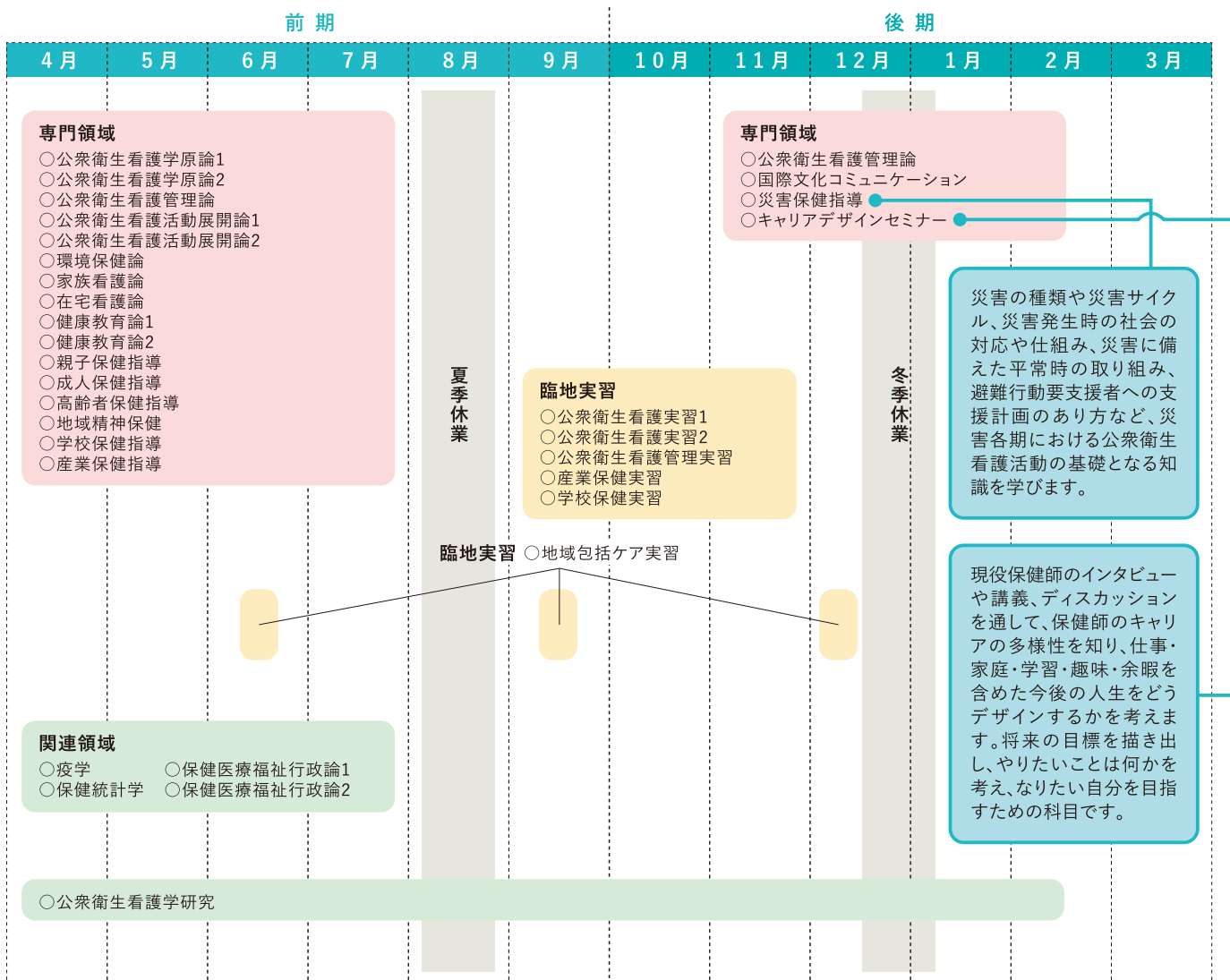
・・・取得可能な資格・・・

保健師国家試験 受験資格

保健師国家試験合格後
第1種衛生管理者の申請資格

カリキュラムの特徴

30科目、合計38単位が必要です。全ての単位を修得することで、保健師国家試験受験資格が得られます。



授業風景



乳児訪問技術演習



健康相談演習



保健事業の企画演習

実習の特徴

行政における実習の他、産業保健、学校保健、地域包括ケア等を実習科目として配し、充実した多彩な実習により高い実践能力を身につけます。

科目	実習概要	実習期間	主な実習施設
公衆衛生 看護実習1	地域住民に身近で頻度の高いサービスを提供している市町村での個人・グループ(小集団)を対象として展開されている家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等への参加をとおして、既存の知識や技術を基盤に対象者や地域の実情に合わせて実践できる能力や多様な場における保健師の役割について総合的な思考を養います。	9月下旬～ 10月上旬に かけて2週間	○市内10区の保健センター ○小樽市保健所 ○千歳保健所及び 管内保健センター ○室蘭保健所及び 管内保健センター
公衆衛生 看護実習2	実習地域を看護の対象として、保健統計資料の分析や地区踏査などから地域アセスメントを実施し、人々の健康課題やニーズの明確化、地域の実情に合わせた課題解決のための対策を立案する能力、地域との協働における保健師の役割について総合的な思考力を養います。 また、地域を包括的に捉えるうえで、保健所と市区町村における公衆衛生看護活動の違いを理解すると共に、各々の役割や機能について学習します。	10月中旬～ 下旬にかけて 2週間	
公衆衛生 看護管理 実習	実習先で展開されている公衆衛生看護管理活動の実際から、具体的な公衆衛生看護管理を学び、地域の健康課題に基づいた事業化の方法を学習します。 公衆衛生看護管理における保健師の役割と機能、健康課題から施策を展開していく方法と技術を理解し、保健師による地域のケアの質保証の方法を学習します。	10月下旬～ 11月上旬に かけて1週間	○札幌市保健所 ○小樽市保健所 ○千歳保健所及び 管内保健センター ○室蘭保健所及び 管内保健センター
産業保健 実習	労働者の個人、集団、組織の健康の保持増進及び予防活動における保健師の役割について実践をとおして学びます。 産業看護の概念や公衆衛生看護活動における産業看護の目的、労働者の健康に及ぼす影響、産業看護における看護管理の特徴や展開を学習します。	9月上旬～ 中旬にかけて 1週間	○製鉄記念室蘭病院 ○JR札幌病院 ○エア・ウォーター健康保険組合 ○花王グループカスタマー マーケティング株式会社 ○イオン北海道株式会社(予定)
学校保健 実習	学校保健の場の特性を理解し、個人及び家族、学校組織を対象とした公衆衛生看護活動について実践をとおして学びます。 公衆衛生看護活動における学校看護の目的、学齢期を対象にした公衆衛生看護活動を展開するために必要な方法、技術等について実践をとおして学ぶとともに養護教諭の役割を学びます。	11月中旬～ 下旬にかけて 1週間	○札幌市立陵北中学校 ○札幌市立伏見小学校 ○札幌市立発寒小学校 ○札幌市立平岡中央小学校
地域包括ケア 実習	地域包括支援センターにおける活動、三職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)の役割、機能を実践をとおして学びます。 地域で暮らす高齢者への継続訪問を実施し、高齢者と家族への支援方法を具体的に学びます。 地域のニーズを把握し、地域包括ケアシステム構築のために必要な知識や技術、保健師としての役割を学びます。	6月、9月、12 月の計4日間	○札幌市内 地域包括支援センター

実習風景



学校保健実習
(健康教育)



産業保健実習
(労働環境の視察)

修了生の進路

修了生全員が保健師として就職し、活躍しています。

〈就職先〉

北海道内
北海道／札幌市／小樽市／旭川市／釧路市／帯広市／美唄市／三笠市／千歳市／ 恵庭市／北広島市／八雲町／長万部町／倶知安町／利尻町／音更町／標津町／ 北海道警察／北海道対がん協会／溪仁会円山クリニック

北海道外
東京都／群馬県／横浜市／ 長野市／西海市

修了生の声



令和4年度 修了生
藤林 みほさん
(恵庭市／保健師)

私は看護師としてコロナ対応をする中で、地域における予防医療、健康危機管理の重要性を改めて感じました。そこで、専門職としての知識と技術を持って、住民に身近な立場で地域の健康課題に取り組める保健師を志しました。

専攻科では、幅広い経験を持つ先生、外部講師の方々からの講義を受けることができ、様々な分野の保健活動の実際を知ることができます。実習では前期で学んだ知識を使って指導者さんや先生のサポートを得ながら、新生児・高齢者の家庭訪問や小学生への健康教育を行いました。あらゆる発達段階にある対象者との関わりの中で、保健師としての実践能力を高めることができましたと思います。

社会人からの進学であったため、入学当初少し不安はありましたが、1年間とても楽しく学ぶことができました。保健師免許の取得はもちろん、周りの仲間や先生方のお陰で充実した日々を過ごすことができましたし、この専攻科の繋がりを大切にしたいと思っています。本学で学んだことを活かして、地域住民が自分らしく生きることを支えられる保健師になりたいです。これから保健師を目指す皆さんも、ぜひ専攻科でたくさんの学びを得て充実した日々を過ごしてください、応援しています！



令和4年度 修了生
山下 束紗さん
(旭川市／保健師)

私は、医療体制が十分でない町で生活した経験から、どのような状況下でも人々が住み慣れた町で安心して健康に暮らせる環境を整えたいと思い、保健師を目指しました。保健師には、確かな知識や技術はもちろん、対象理解の力、柔軟で多様な思考力が求められると思います。本専攻には、幅広い分野の実習や様々な場で活躍されている方から直接学ぶ機会があります。充実した学習環境が整えられている本専攻は、保健師に求められる能力を身に付けられると考え、志望しました。入学後は、たくさんのグループワークや演習を通して、保健師活動について多方面から深く学び、考えることができました。実習では、個別から地域、地域から個別をみるという保健師特有の視点や予防的視点の重要性を学び、保健師活動の本質を理解することができました。また、地域で活動する楽しさ・やりがいを実感し、保健師になることへの思いが強まりました。

専攻科での1年はとても忙しい日々でしたが、親身にサポートして下さる先生方、同じ志を持った仲間のおかげで乗り越えることができました。この専攻科で学び、感じたことを今後の保健師活動に活かし、人々の健康づくり、全ての人々が安心して暮らすことができる地域づくりに貢献していきたいです。

助産学専攻 Midwifery

教育目標

助産学専攻では、教育理念を実現し、社会の要請に応える助産師としての基礎を培うため、以下の教育目標を掲げます。

1. 妊娠・出産・産褥の過程、その後の育児に関わる母子やその家族及び女性の生涯の健康を支援するために必要な知識・技術を有する人材を育成する。
2. 広い視野のもとに、多角的・多面的に女性の健康に向き合う姿勢を有する人材を育成する。
3. 対象となる女性と家族の多様性を尊重し、相互信頼に基づく支援と支持を実行しうる能力を有する人材を育成する。
4. 助産実践に際しては他職種と協働しながら専門的な知識・技術を活用し、専門職としての責任と責務を主体的に遂行する能力を有する人材を育成する。
5. 人間の尊厳と生命の尊重を基盤に、専門職である助産師に求められる倫理に即して行動できる人材を育成する。
6. 助産実践の質的向上のために継続的に自己研鑽し、助産に関する能力の維持・開発、助産学を探究する態度を有する人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー(修了証書授与方針)

助産学専攻は、地域の母子保健・周産期医療を担う助産師に求められる専門性と実践力を兼ね備え、所定の単位を修得した学生に助産師国家試験受験資格を付与するとともに、修了証書を授与します。

1. 妊娠・出産・産褥の過程において正常経過の判断と異常を早期に発見するための助産学及び関連分野の知識・技術を実践に活用する能力を身につけている。
2. 妊娠・出産・産褥の過程において正常経過をたどる女性と子ども、家族の状況に即した助産ケアを的確に実施できる基礎的な能力を身につけている。
3. 妊娠・出産・産褥においてハイリスクな状態にある女性や子どもの経過判断を的確に行い、必要なケアを実施する能力を身につけている。
4. 助産実践の対象となる全ての女性、とりわけ妊娠・出産・産褥の過程における女性や家族と信頼関係を築き、発展させる能力を身につけている。
5. 助産実践の充実と発展のために助産師チームの連帯性を高めるとともに、保健医療チームにおいて他の保健医療関係者と連携・協働する能力を身につけている。
6. 地域の母子保健・周産期医療を取り巻く諸課題に向き合い、それらの充実と発展を志向し、行動する能力を身につけている。
7. 助産師としてのプロフェッショナリズムを高め、研鑽し続ける能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

助産学専攻は、修了証書授与方針に掲げた能力を有する人材を育成するために、以下のように教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程は、「助産学の基礎領域」「助産学の実践領域」「助産学の関連領域」で編成する。
 - ①助産学の基礎領域では、助産の目的・対象、助産実践の基盤となる周産期医学や胎児・新生児学の知識に加え、性と生殖に係わる健康支援者としての役割、専門職としての責務と倫理を学習する。
 - ②助産学の実践領域では、さまざまな健康レベルにある妊産褥婦と新生児に対するアセスメント、出産に向けた身体的準備性と回復力を高める助産ケアの基本、多様な施設における助産管理の実際を学ぶ。実習では、自らの助産活動を通して知識と技術を統合し、実践能力を高める。
 - ③助産学の関連領域では、子育て中の女性と家族に対する支援、地域における母子保健の課題を解決するための助産師の役割について学ぶ。加えて、最新の知見をもとに助産実践に対する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養う。
2. 助産学及び助産実践に必要な知識と技術の修得レベルを高めるため、事前準備と事後展開を含む質・量の伴う学修過程を展開する。
3. 少人数グループでの能動的学習を多くとり入れるとともに、個別指導による学習支援を充実させ、学生個々が高水準の知識・技術を修得できる教育環境のもとカリキュラムを展開する。
4. 将来の助産師としてのキャリアプランを具現化するため、周産期母子医療センター、病院、助産所及び地域で活躍する現職助産師と交流し、キャリアイメージを高め、職業アイデンティティの形成を促す機会を設定する。

教授あいさつ

助産学専攻教授 正岡 経子 Masaoka Keiko

助産学専攻は今年で開設12年目を迎え、これまで200名余りの修了生を助産師として社会に送り出してきました。助産師教育は、その時々々の社会動向に合わせ、教育内容、方法の検討を行い、令和4年度に開設以来3回目となるカリキュラム改正を行い、新カリキュラムを運用しているところです。常に重視していることは母性看護学を中心とした看護基礎教育とのつながり、および修了後の新人助産師教育との継続性のあるシームレスな教育活動です。現在は、少子化、出産の高齢化、身体・心理・社会的にリスクを有する母子と子育て家族が増えていることを背景に、周産期ハイリスクケアや子育て支援において多職種が連携・協働し母子と家族の健康を支えるケア能力の獲得が重点課題となっています。誰一人取り残さない-No one will be left behindをスローガンとする持続可能な開発目標「SDGs」において、助産師が機能することは必要不可欠です。助産師は、英語でMidwifeといいます。Midwifeの語源はラテン語で、「女性とともにある」を意味しています。さまざまなライフステージにある女性とともにあり続け、「いのちを守りいのちを育む人になる」ために、助産師はどのように思考・判断し、行動する必要がありますでしょうか。女性に寄り添うケア実践の根底にある助産哲学に裏付けされた専門的知識・技術を札幌医科大学で学び、未来への扉を開きませんか。

…取得可能な資格…

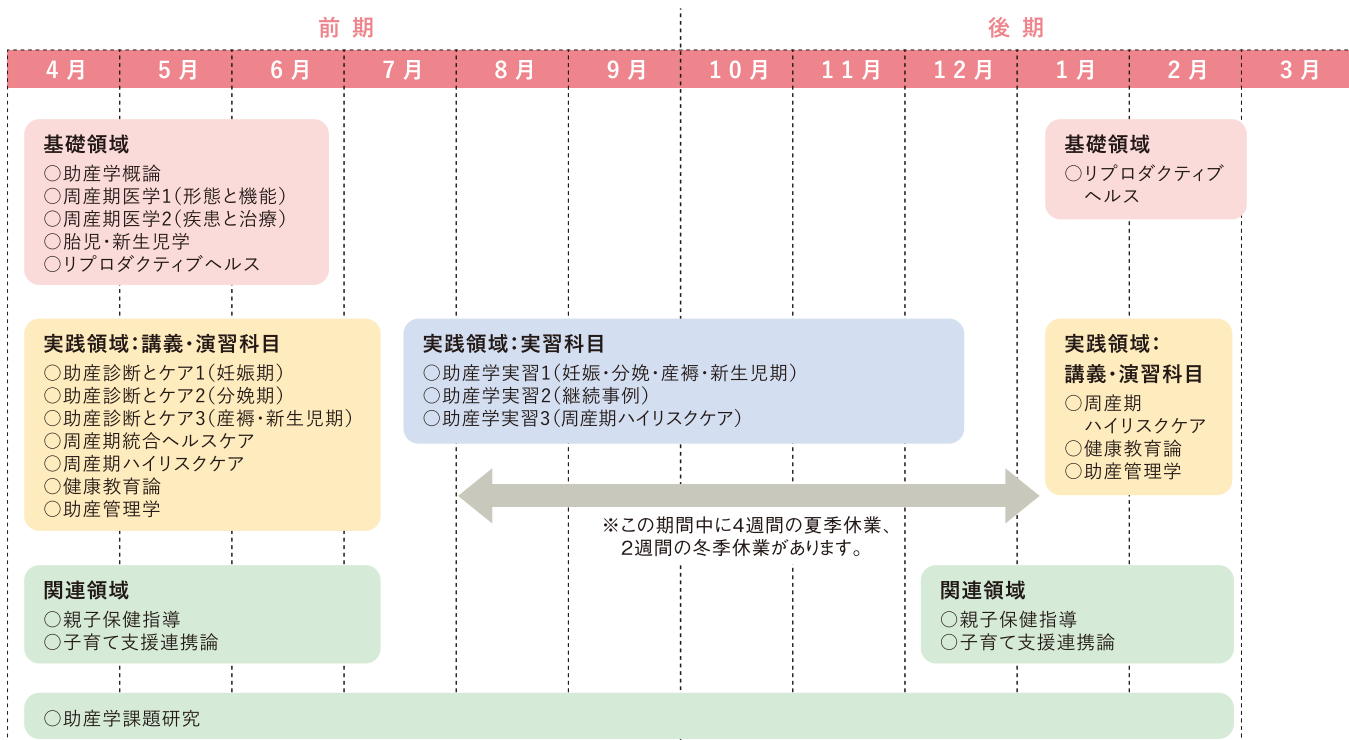
助産師国家試験
受験資格

受胎調節実地指導員
申請資格

新生児蘇生法(NCPR)専門コース
(Aコース)修了認定申請資格

カリキュラムの特徴

母性看護学教育を取り巻く現状を踏まえ、看護学教育から助産学教育への滑らかな移行を目指し、学内での講義・演習で基礎を固めた上で実習に向かえるよう、カリキュラムを構成しています。身体的リスクに加え、心理社会的に困難や課題を抱える妊産婦や家族が増加している背景を受け、令和4(2022)年度に助産師基礎教育課程の指定規則が変更されました。本学では総単位数の変更はありませんが、医学的ハイリスクへの臨床判断と対応能力の強化、地域での子育て支援に参画する基盤的能力の強化を目指し、カリキュラムを一部改正しました。学内演習ではロールプレイを多く取り入れた「人」との関わりを重視し、臨床の「リアルな場面」を再現しケア能力を高める学習が充実しています。また、学生時代から多職種と協働する力を育むため、保健師を目指す公衆衛生看護学専攻の学生と共に学ぶ講義・演習を準備しています。



※修了には18科目32単位の修得が必要です。

授業風景



分娩介助演習



授乳支援の演習



妊婦健診での医療面接演習



出生直後の児の観察演習



出産後の身体づくり:エクササイズ演習



妊婦の心肺蘇生演習



妊娠期の超音波診断演習



助産学課題研究:ケーススタディ報告会



グループ学習:メンタルヘルス不調を抱える女性のスクリーニング

実習の特徴

札幌市内の他、全道各地の医療機関で実習を行います。地域の周産期医療の現状と女性・家族の多様なニーズに触れながら経験を積むことができます。

科目	実習概要	実習期間	主な実習施設
助産学実習1 (妊娠・分娩・産褥・新生児期)	正常経過にある妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子と家族を受け持ち、マタニティサイクルに必要なケアの実践能力を修得する。マタニティサイクル各期の対象者を一定数以上受け持つことを通して、妊産褥婦と新生児の個別性を理解し、ニーズに合わせたケアを提供する。また、その人らしさと持てる力を尊重したケアを提供するために助産師に求められる基礎的な態度を学ぶ。	7月中旬 ～12月中旬	○札幌医科大学附属病院 ○手稲溪仁会病院 ○NTT東日本札幌病院 ○朋佑会札幌産科婦人科 ○札幌白石産科婦人科病院 ○札幌東豊病院 ○札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル
助産学実習2 (継続事例)	マタニティサイクルにある一組の母子と家族を受け持ち、妊娠期(または分娩期)から産褥・育児期までの継続ケアを展開する。プライマリケアの中で母子の身体的、心理社会面の変化を理解し、母子と家族のニーズに応じたケアを実施する。また、受け持ち母子および家族との継続的なかわりを通して、対象者との援助関係を形成し、対象者にとって妊娠・出産・育児がよりよい体験となるための助産師の役割・態度について考察する。		○江別市立病院 ○市立千歳市民病院 ○製鉄記念室蘭病院 ○日鋼記念病院 ○函館中央病院 ○函館五稜郭病院
助産学実習3 (周産期ハイリスクケア)	リスクのある妊産褥婦と新生児へのケアに参加し、実践に必要な知識と技術について学習する。また、周産期医療の現状、医療チームの連携、周産期のハイリスク対象への継続ケアについて学び、周産期医療チームにおける助産師の役割を考察する。	8月上旬 ～12月中旬	○市立函館病院 ○町立中標津病院 ○北海道立子ども総合医療・療育センター

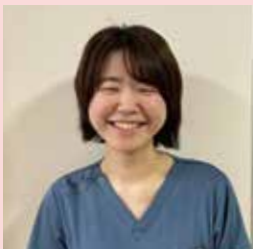
修了生の進路

毎年、修了生の7~8割が、北海道内の医療機関に助産師として就職しています。
また、修了生の5割が、実習施設に就職しています。

〈就職先〉

北海道内	北海道外
札幌医科大学附属病院／手稲溪仁会病院／ NTT東日本札幌病院／JCHO北海道病院／ KKR札幌医療センター／札幌白石産科婦人科病院／ 朋佑会札幌産科婦人科／札幌東豊病院／ 札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル／ 北海道大学病院／市立札幌病院／天使病院／ 勤医協札幌病院／札幌徳洲会病院／ カワカミウイメンズクリニック／江別市立病院／ 市立千歳市民病院／苫小牧市立病院／小樽協会病院／ 製鉄記念室蘭病院／函館五稜郭病院／函館中央病院／ 帯広厚生病院／帯広協会病院／釧路赤十字病院／ 町立中標津病院／網走厚生病院／北見赤十字病院／ 旭川医科大学病院／旭川厚生病院／留萌市立病院	青森県立中央病院／ JA新潟厚生連長岡中央総合病院／ さいたま赤十字病院／戸田中央産院／ 東京医科大学病院／杏林大学医学部付属病院／ 東京女子医科大学病院／ 東京女子医科大学八千代医療センター／ 東邦大学医療センター大森病院／ 国立成育医療研究センター病院／ 慈恵会医科大学附属病院／ 大森赤十字病院／板橋中央総合病院／ 横浜みなと赤十字病院／横浜国際親善病院／ 新百合ヶ丘総合病院／京都市立病院／ 大阪市立総合医療センター／ 済生会兵庫県病院 他

修了生の声



令和3年度 修了生
浦澤 裕香さん
(手稲溪仁会病院 助産師)

私は命の誕生に関わる助産師への憧れから助産師を目指すようになり、専攻科に入学しました。専攻科の授業では座学だけではなく分娩介助や授乳支援などの演習も多く、実践を意識した学びを得ることができました。分娩介助の演習では事例をもとに学生同士でロールプレイを行いながら実技を学び、その後の分娩期の実習を通じて助産介助の技術を高めることができたと思います。また、アロマトリートメントの演習では教科書よりも深い知識を学ぶことができ、現在臨床でも活かすことができている大切なケアだと実感しています。

公衆衛生看護学専攻と合同の授業ではグループワークを通し、異なる視点から地域に住む対象者の看護を考えることができ、互いの役割や強みを知る貴重な経験となりました。

就職後は正常分娩からハイリスクな妊産褥婦まで多様な対象者と関わる機会があり、専攻科で学んだ基礎知識や実習での経験は日々の業務に役立っています。専攻科の1年は座学、演習、実習、研究、国家試験…と充実しており忙しいですが、1つ1つが全て将来に役立つ学びであったと振り返ります。専攻科には就職から勉強、研究、その他些細なことでも相談に乗ってくれる心強くて優しい先生方も沢山いらっしゃいます。素敵な助産師になれるようにぜひ一緒に頑張りましょう。



令和3年度 修了生
佐々木 萌衣さん
(町立中標津病院 助産師)

私にとって、専攻科で学んだ1年はとても充実したもので、助産師になりたいという思いをより強く持つことができました。講義や実習、研究に国家試験と簡単に乗り越えられるものは一つもありませんでしたが、信頼できる先生方や同期の存在にとっても助けられ助産師になることができました。今でも、仕事で悩んだとき、落ち込んだとき思い出すのは一緒に学習してきた専攻科の同期です。1年という短い期間ではありますが、同期の存在を大切に、切磋琢磨しながら学んでもらうことができたらと思います。

私は今、地域の中核病院の混合病棟で助産師として勤務しています。妊産褥婦だけでなく、幅広い年代の様々な疾患を対象にケアを行っています。多くの知識と技術が求められ、命を預かることへの責任と重圧を強く感じています。また、精神疾患合併妊婦や社会的なサポート不足など難しい事例も多くあります。そのため、より良いケアを提供できるよう日々自身のケアの振り返りと学習を継続しています。

コロナ禍で立ち合いや面会に制限があったり、地域によっては出産できる病院が身近にないということが増えていくと思います。そんな中で、妊産褥婦のことを考え寄り添ってくれる助産師の存在はととても大切だと考えます。助産師を目指している皆さん、一緒に頑張りましょう。

学生募集の概要

●入学者選抜のねらい

看護学一般に関する客観問題と記述問題からなる学科試験を課し、公衆衛生看護学または助産学を学ぶ上で必要とされる知識を確認するとともに、公衆衛生看護学実践または助産学実践への意欲や課題意識、将来の保健師や助産師としての適性を評価します。

●募集人員及び選抜区分

公衆衛生看護学専攻	
入学定員	選抜区分
15名	一般入試、学内推薦入試 社会人入試

助産学専攻	
入学定員	選抜区分
15名	一般入試、 地域社会人特別推薦入試

●入試日程及び入学者選抜方法、入学科等(各専攻各選抜区分共通)

◎入試日程

試験日	令和5(2023)年 9月9日(土)	出願期間	令和5(2023)年 7月10日(月)～7月24日(月)
-----	-----------------------	------	---------------------------------

◎入学者選抜方法

筆記試験(専門科目(看護学一般))
及び面接

◎入学科、授業料 入学科 169,200円 授業料 535,800円 ※その他、テキスト代、実習に伴う経費(旅費等)がかかります。

●出願資格

各専攻共通

一般入試	出願資格
	次の①から⑦のいずれかに該当する者で(助産学専攻においては女性であること)、かつ、看護師資格を有する者又は出願時において看護師国家試験の受験資格を有する者(取得見込みの者を含む)とする。ただし、入学時には看護師国家試験に合格していなければならない。
	①学校教育法第83条第1項に規定する大学を卒業した者又は令和6(2024)年3月までに卒業見込みの者
	②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和6(2024)年3月までに学位取得見込みの者
	③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6(2024)年3月までに修了見込みの者
	④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6(2024)年3月までに修了見込みの者
	⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和6(2024)年3月までに修了見込みの者
	⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和6(2024)年3月までに修了見込みの者
	⑦学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣の指定した者

公衆衛生看護学専攻

学内推薦入試	出願資格
	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。
	①令和6(2024)年3月に札幌医科大学保健医療学部看護学科を卒業見込みであり、かつ、札幌医科大学保健医療学部長が推薦する者
	②合格した場合には必ず入学することを確約する者
	③本専攻修了後は、北海道内に保健師として就職することを確約する者
	④出願時に、上記②、③に関する本人記載の確約書を提出できる者
社会人入試	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。
	①入学時で、満25歳に達し、3年以上の看護職歴を有する者
	②合格した場合には必ず入学することを確約する者
	③本専攻修了後は、北海道内に保健師として就職することを確約する者
	④出願時に、上記②、③に関する本人記載の確約書を提出できる者

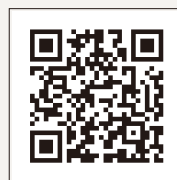
助産学専攻

地域社会人特別推薦入試	出願資格
	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。
	①札幌市以外の北海道内の市町村にある病院・診療所等で看護師として勤務している者のうち施設長が推薦する者
	②合格した場合には必ず入学することを確約する者
	③本専攻修了後は、助産師として推薦者である病院・診療所等に復帰する者
	④出願時に、施設長の同意を含めた本人記載の確約書を提出できる者

専攻科説明会は、
令和5(2023)年6月24日(土)に開催します。

詳細については、随時大学ホームページに掲載しますので、
右のQRコードからご確認ください。

ホームページは
こちらから





北海道公立大学法人
札幌医科大学
Sapporo Medical University

● アクセス

- ・札幌市電「西15丁目」停留所下車・徒歩約5分
- ・地下鉄東西線「西18丁目」駅6番出口・徒歩約5分

● お問い合わせ

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
札幌医科大学 事務局学務課 保健医療学部・専攻科教務係

TEL 011-611-2111 (内線23780)

✉ senkouka@sapmed.ac.jp

<https://web.sapmed.ac.jp/>

